

発表項目 (行事名)	マルハナバチ&トマト勉強会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>セイヨウオオマルハナバチは、1990年代初めにトマト等ハウス栽培の受粉用に輸入され、労力削減及び高品質な農産物を生産できることから、道内でも広く導入され、「安心・安全でおいしい農作物」の提供に大きく貢献してきた。</p> <p>しかし、ハウスから逸走したセイヨウオオマルハナバチが生態系に悪影響を及ぼすことから、2006年に特定外来生物に指定され、その飼養が、逸走防止措置をとった上で許可制になるなど、厳しい制限が設けられた。このため、近年は人工授粉の方法に戻すなど、当該ハチを使用しない農法を採用する農家も出てきている。</p> <p>野外に定着したセイヨウオオマルハナバチの防除を担う市民、団体と農業関係者の相互理解を深めるため、次のとおり勉強会を開催する。</p> <p>1 開催日時 令和5年(2023年)9月15日(金) 10:00~11:30</p> <p>2 開催場所 美瑛町公民館宇莫別分館 (上川郡美瑛町上宇莫別字上宇漠別拓殖1229-1)</p> <p>3 開催内容</p> <p>(1) トマト生産現場における試み(ハチを使用しない生産方法)等 講師: 唐澤 宏之(美瑛町字中宇莫別 トマト農家)</p> <p>(2) 農業用セイヨウオオマルハナバチ管理の実態・事例紹介等 講師: 田中 伸尚(上川農業改良普及センター大雪支所)</p> <p>(3) セイヨウオオマルハナバチの許可手続き及び全道の許可状況等 講師: 佐藤 拓真(環境省北海道地方環境事務所野生生物課)</p> <p>(4) 十勝連峰におけるセイヨウオオマルハナバチの生息状況等 講師: 戸島あかね(大雪山マルハナバチ市民ネットワーク美瑛部)</p> <p>(5) 現地視察(ハチを使用しない生産方法について)</p>		
参考	開催周知用チラシ		

報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	

担当 (連絡先)	上川総合振興局保健環境部環境生活課(担当者: 太田環境生活課長、八百) TEL ダイヤルイン 0166-46-5128 ダイヤルイン 0166-46-5922		
-------------	---	--	--

マルハナバチ&トマト勉強会実施要領

1 目的

セイヨウオオマルハナバチは、1990年代初めにトマト等ハウス栽培の受粉用に輸入され、労力削減及び高品質な農産物を生産できることから、道内でも広く導入され、「安心・安全でおいしい農作物」の提供に大きく貢献してきた。

道内における当該ハチの飼養許可はおよそ2,500件程度あり、そのうち上川総合振興局管内は700~800件程度が許可を受けており、振興局別では道内2位の規模になる。

しかし、ハウスから逸走したセイヨウオオマルハナバチが生態系に悪影響を及ぼすことから、2006年に特定外来生物に指定され、その飼養が、逸走防止措置をとった上で許可制になるなど、厳しい制限が設けられた。

このため、近年は人工授粉の方法に戻すなど、当該ハチを使用しない農法を採用する農家も出てきている。

一方で、野外に定着したセイヨウオオマルハナバチの防除を担う市民、団体には、ハウス栽培の現状や管理体制等について情報を得る機会が少なく、防除の傍ら飼養されている状況に、不安を感じている者も少なくない。

このことから、相互理解を深めるため、農業関係者と防除従事者及び生態系保全に関心のある方々との情報交換の機会として、次のとおり勉強会を開催する。

2 開催日時

令和5年(2023年)9月15日(金)10:00~11:30

3 開催場所

美瑛町公民館宇莫別分館

(上川郡美瑛町上宇莫別字上宇漠別拓殖1229-1)

4 開催内容

- (1) トマト生産現場における試み(ハチを使用しない生産方法)等について
講師:唐澤 宏之(美瑛町字中宇莫別 トマト農家)
- (2) 農業用セイヨウオオマルハナバチ管理の実態・事例紹介等について
講師:田中 伸尚(上川農業改良普及センター大雪支所)
- (3) セイヨウオオマルハナバチの許可手続き及び全道の許可状況等について
講師:佐藤 拓真(環境省北海道地方環境事務所野生生物課)
- (4) 十勝連峰におけるセイヨウオオマルハナバチの生息状況等について
講師:戸島あかね(大雪山マルハナバチ市民ネットワーク美瑛部)
- (5) 現地視察(ハチを使用しない生産方法について)

5 スケジュール

時間	内容	担当
10:00～	開催挨拶	高橋自然環境係長
10:05～	トマト生産現場における試み等について	唐澤 講師
10:25～	農業用セイヨウオオマルハナバチ管理の実態・実例紹介等について	田中 講師
10:40～	セイヨウオオマルハナバチの許可手続き及び全道の許可状況等について	佐藤 講師
10:55～	十勝連峰におけるセイヨウオオマルハナバチの生息状況等について	戸島 講師
11:10～	質疑応答	
11:15～	ハウス栽培の現状視察	
11:30～	閉会挨拶	高橋自然環境係長

6 参集範囲

- (1) セイヨウオオマルハナバチバスターズ
- (2) 生態系保全等に興味のある方
- (3) 各市町村外来種対策業務主管課
- (4) 美瑛町農業協同尾組合
- (5) 環境省（北海道地方環境事務所）
- (6) 農務課及び農業改良普及センター



マルハナバチ&トマト勉強会 を開催します



セイヨウオオマルハナバチは、トマトなどビニールハウス栽培のため導入されましたが、逃げた個体が野生化し、生態系への悪影響から特定外来生物に指定されました。

そのため、農業での使用には環境省の許可が必要ですが、一方でハチを使用せずにトマト栽培を行っている方がいます。

どのような工夫をされているのでしょうか？

周辺地域におけるセイヨウオオマルハナバチの生息状況とは？

マルハナバチやトマト栽培について知見を深めるため、次のとおり勉強会を開催いたします。



北海道農産振興課 HP



北海道農政課 HP

○ **開催年月日**

令和5年(2023年)9月15日(金) 10:00~11:30

○ **開催場所**

美瑛町公民館宇莫別分館

(上川郡美瑛町上宇莫別字上宇漠別拓殖1229-1)

○ **内容**

- ・トマト生産現場における試み(ハチを使用しない生産方法)等について
- ・農業用セイヨウオオマルハナバチ管理の実態・事例紹介等について
- ・セイヨウオオマルハナバチの許可手続き及び全道の許可状況等について
- ・十勝連峰におけるセイヨウオオマルハナバチの生息状況等について
- ・現地視察(ハチを使用しない生産方法について)

申込先

北海道上川総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係(担当:八百)

電話: 0166-46-5922、FAX: 0166-46-5206

申込〆切り: 令和5年(2023年)9月14日(木)

開催場所への地図



※会場は、美瑛町公民館宇莫別分館（美瑛町上宇莫別字上宇漠別拓殖1229-1）です。旧宇莫別小学校を利用した建物になります。

会場から500mほどの場所に現地視察会場のトマトハウスがあります。



★ふるってご参加ください★



申込先

北海道上川総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係（担当：八百）

電話：0166-46-5922、FAX：0166-46-5206

申込×切り：令和5年（2023年）9月14日（木）